

平成26年度 9月補正予算案等概要

I 総括

1 歳入歳出予算補正

(1) 補正規模

(単位:千円)

	当初予算	現在予算	今回補正	補正後予算
一般会計	776,340,000	776,584,693	1,841,132	778,425,825
特別会計	878,623,328	878,623,328	4,789,607	883,412,935
企業会計	265,482,142	265,482,142	0	265,482,142
合 計	1,920,445,470	1,920,690,163	6,630,739	1,927,320,902

【参考】

今回補正における一般会計の主な財源内訳

○一般財源	・繰越金	927,101
○特定財源	・国庫支出金	285,938
	・県支出金	72,593
	・市債	563,000

(2) 補正の概要

(単位:千円)

① 予防接種	<u>932,287</u>
② 雇用対策	<u>42,093</u>
③ 公共事業(国の内示等に伴う変更)	<u>3,522,953</u>
④ その他	<u>▲ 151,594</u>
⑤ 市債管理特別会計	<u>2,285,000</u>

※他会計の補正に伴う市債収入金繰出金

2 繰越明許費補正 (1件) (単位:千円)

追加補正額	<u>497,772</u>
-------	-----------------------

3 債務負担行為補正 (6件) (単位:千円)

追加補正額	<u>7,527,536</u>
-------	-------------------------

Ⅱ 内容

1 歳入歳出予算補正

① 予防接種

932,287 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
予防接種事業 水痘(水ぼうそう)予防接種及び高齢者肺炎球菌予防接種の 平成26年10月1日からの定期予防接種化に伴う増額	932,287	保健福祉局

② 雇用対策

42,093 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
雇用創出の基金による地域人づくり事業〔雇用創出効果:38人〕		
・ アグリインキュベーション事業〔33人〕 農業に関する実践的な活動に従事し、幅広い知識と技術の獲得 を目指すことで、農業の担い手の育成を図る	30,144	農林水産局
・ インキュベーションファーム事業〔2人〕 耕作放棄地等を活用した施設園芸農業の高度な技術指導等 により、独立した経営が行える新規就農者の育成を図る	2,545	農林水産局
・ データサイエンティスト人材育成事業〔3人〕 ビッグデータを分析する人材を育成するためのオンラインコンテン ツの作成等を通して、データサイエンティストの育成を図る	9,404	経済観光文化局

③ 公共事業(国の内示等に伴う変更)

3,522,953 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
学校施設天井等落下防止対策事業 小学校4校, 中学校25校の屋内運動場等の吊り天井の撤去等	534,300	教育委員会
学校給食センター再整備事業 国補助内示に伴うPFI事業者への一括払い分の増額	235,114	教育委員会
学校施設空調整備事業 市直接施工分(小学校35校及び離島中学校3校)に係る設計	44,300	教育委員会
し尿処理施設 中部汚泥再生処理センター整備の増額	145,032	環境局
港湾整備事業 国直轄工事費負担金, 箱崎ふ頭地区大型クルーズ客船対応係留 施設整備の増額及びアイランドシティ地区道路整備等の減額	52,600	港湾局
海岸整備事業 西戸崎地区, 能古地区護岸整備の減額	▲ 54,000	港湾局
漁港施設整備関連事業 志賀島漁港, 玄界漁港, 唐泊漁港の施設整備の増額	61,000	農林水産局
新青果市場整備事業【市場特会】 国補助内示に伴う新青果市場新築工事費の前倒し及び 賃金水準・物価水準の上昇に伴う増額	2,504,607	農林水産局

④ その他

▲ 151,594 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
船舶航行安全対策検討経費(大型クルーズ客船対応)	31,000	港湾局
農業用施設維持補修事業(井堰等の調査点検業務)	14,000	農林水産局
福岡都市圏南部環境事業組合負担金(組合の予算補正に伴う減額)	▲ 196,790	環境局
一般会計から特別会計への繰出金	196	農林水産局

⑤ 市債管理特別会計

2,285,000 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
一般会計への市債収入金繰出金	563,000	財政局
特別会計への市債収入金繰出金	1,722,000	財政局

2 繰越明許費補正

(1件)

497,772 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
し尿処理施設	497,772	環境局

3 債務負担行為補正

(6件)

7,527,536 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
インキュベーションファーム事業	8,625	農林水産局
データサイエンティスト人材育成事業	4,705	経済観光文化局
福岡市立東部地域小学校空調整備PFI事業	1,904,817	教育委員会
福岡市立西部地域小学校空調整備PFI事業	1,998,085	教育委員会
舞鶴公園拡張部整備事業	4,725,000	住宅都市局
新青果市場新築工事【市場特会】	▲ 1,113,696	農林水産局

Ⅲ 決算見込

平成25年度決算概要

<一般会計・特別会計>

(単位:千円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計
最終予算額	810,774,534	860,454,540
歳入決算額(A)	778,535,075	813,320,761
歳出決算額(B)	766,829,288	809,856,223
形式収支額(C=A-B)	11,705,787	3,464,538
翌年度繰越財源(D)	2,428,926	340,588
実質収支額(E=C-D)	9,276,861	3,123,950
摘 要	主な歳入過不足・歳出不用 【歳入過不足】 市税 2,743,197 株式等譲渡所得割交付金 1,137,580 地方消費税交付金 604,777 【歳出不用】 特別会計等への繰出金 986,289	主な実質収支 国民健康保険事業 1,063,436 母子寡婦福祉資金貸付事業 691,316 介護保険事業 647,571 市営競艇事業 464,053 港湾整備事業 164,249

<企業会計>

(単位:千円)

区 分		収益的収支	資本的収支
下水道事業	収入	47,145,251	34,365,293
	支出	41,545,872	55,621,383
	差引	5,599,379	△21,256,090
水道事業	収入	34,801,468	10,617,045
	支出	30,805,330	23,211,959
	差引	3,996,138	△12,594,914
工業用水道事業	収入	206,550	68,000
	支出	173,420	146,883
	差引	33,130	△78,883
高速鉄道事業	収入	29,177,259	23,827,717
	支出	27,630,081	32,236,514
	差引	1,547,178	△8,408,797
企業会計 計	収入	111,330,528	68,878,055
	支出	100,154,703	111,216,739
	差引	11,175,825	△42,338,684

平成25年度企業会計利益の処分

(単位:千円)

区 分	当年度未処分 利益剰余金	利益剰余金処分額 (減債積立金)	翌年度繰越 利益剰余金
下水道事業	6,543,838	4,900,000	1,643,838
水道事業	9,613,585	3,500,000	6,113,585
工業用水道事業	355,440	27,000	328,440
高速鉄道事業	—	—	—
企業会計 計	16,512,863	8,427,000	8,085,863

平成25年度決算に基づく健全化判断比率等について

【 福岡市の概要 】

- 「健全化判断比率」は、いずれも早期健全化基準を下回る水準。
- 「実質公債費比率」は、これまでの財政健全化の取組などの結果、前年度から改善（▲1.2ポイント）。
- 「将来負担比率」は、これまでの財政健全化の取組などの結果、前年度から改善（▲17.1ポイント）。
- 「資金不足比率」について、赤字となった公営企業はない。

○ 健全化判断比率

比 率	本市	早期健全化 基 準	財政再生 基 準	説 明
実質赤字比率【フロー指標】 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$ </div>	— 黒字のため 比率なし	11.25%	20%	○実質収支額 <u>一般会計</u> 93億円の黒字 ※標準財政規模（H25年度） 3,541億円
連結実質赤字比率【フロー指標】 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$ </div>	— 黒字のため 比率なし	16.25%	30%	○実質収支額 <u>全会計</u> 314億円の黒字 ・主なもの 一般会計 93億円 下水 105億円 水道 92億円
実質公債費比率【フロー指標】 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（3か年平均） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{算入公債費等})}{\text{標準財政規模} - \text{算入公債費等}}$ </div>	13.4%	25%	35%	○単年度比率の推移 23年度：14.3% 24年度：13.2% 25年度：12.8% 参考：H24年度決算 実質公債費比率 14.6%
将来負担比率【ストック指標】 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能財源等}}{\text{標準財政規模} - \text{算入公債費等}}$ </div>	174.8%	400%	/	○将来負担額の内容 市債 一般会計等 14,176億円 公営企業 3,193億円 債務負担 222億円 一部事務組合 5億円 退職手当 731億円 三セク等 233億円 参考：H24年度決算 将来負担比率 191.9%

○ 資金不足比率

比 率		本市	経営健全化 基 準	財政再生 基 準	説 明
資金不足比率 【フロー指標】 公営企業ごとの 資金の不足額の事 業の規模に対する 比率	下水道	—	20%	/	
	水道	—			
	工業用水道	—			
	高速鉄道	—			
	集落排水	—			
	中央市場	—			
	港湾整備	—			
	市営渡船	—			

※ 実質赤字比率, 連結実質赤字比率及び資金不足比率については, 黒字の場合「—」で表示します。

※ 標準財政規模とは, 税収や普通地方交付税など各自治体に共通した標準的な収入のことで, 自治体が通常水準の行政サービスを提供するうえで必要な一般財源の目安となる数値です。